

2024年11月期 第2四半期決算短信(日本基準)(非連結)

2024年7月10日

上場会社名 株式会社ティムコ
コード番号 7501 URL <https://www.tiemco.co.jp>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 酒井 誠一
問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部長 (氏名) 荻原 浩二

TEL 03-5600-0122

四半期報告書提出予定日 2024年7月12日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年11月期第2四半期の業績(2023年12月1日～2024年5月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年11月期第2四半期	1,701	6.2	17	85.8	20	83.5	2	97.0
2023年11月期第2四半期	1,814	7.4	125	82.4	124	64.9	98	44.9

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年11月期第2四半期	1.20	
2023年11月期第2四半期	39.66	

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年11月期第2四半期	5,757	4,640	80.6	1,873.96
2023年11月期	5,752	4,670	81.2	1,886.02

(参考)自己資本 2024年11月期第2四半期 4,640百万円 2023年11月期 4,670百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2023年11月期	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年11月期		0.00		12.00	12.00
2024年11月期(予想)				17.50	17.50

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2024年11月期(予想)の期末配当の内訳 普通配当12円00銭 記念配当5円50銭(第55期記念配当)

3. 2024年11月期の業績予想(2023年12月1日～2024年11月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,403	0.0	45	61.3	49	58.1	20	81.5	8.12

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2024年11月期2Q	3,339,995 株	2023年11月期	3,339,995 株
期末自己株式数	2024年11月期2Q	863,481 株	2023年11月期	863,481 株
期中平均株式数(四半期累計)	2024年11月期2Q	2,476,514 株	2023年11月期2Q	2,476,514 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等に関する記述は、当社が現在入手可能な情報に基づき作成したもので、実際の業績等は今後様々な要因によって大きく異なる場合があります。なお、業績見通し等に関する事項は、添付資料3ページ「(3)業績予想などの将来予想情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	5
第2四半期累計期間	5
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	6
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間(自2023年12月1日 至2024年5月31日)における日本経済は、社会経済活動の正常化が進み、雇用・所得環境の改善やインバウンド需要の増加により回復基調にあるものの、地政学上のリスクの深刻化や、原材料及びエネルギー価格の高騰や為替の変動等に伴う物価高の影響による実質賃金の減などにより、依然として先行き不透明な状況が続いております。

当社の関わるアウトドア関連産業のうち、釣用品市場では、コロナ禍における需要からの反動減による在庫調整局面が依然として続いております。また、アウトドア衣料品市場は、記録的な暖冬による防寒衣料の販売が低迷した一方、春夏物衣料の販売については概ね順調に推移いたしました。

このような状況の中、当社では収益確保に向けた商品の販売強化に取り組みましたが、当第2四半期の売上高は17億1百万円(前年同期比6.2%減)となりました。また、円安や物価高騰による仕入原価の上昇などによる売上総利益率の低下などにより営業利益は17百万円(前年同期比85.8%減)、経常利益は20百万円(前年同期比83.5%減)となりました。さらに法人税等調整額7百万円の影響などにより、四半期純利益は2百万円(前年同期比97.0%減)となりました。

セグメントの業績を示すと、次の通りであります。

(フィッシング事業)

フィッシング事業に関しては、コロナ禍において密を避けられる屋外アクティビティとしての需要からの反動減による在庫の調整局面が続いていることから、販売が全般的に苦戦しました。

ルアー用品についてはフィッシングロッド(釣竿)において売上を伸ばした商品があった一方、ルアー(擬似餌)やフライ用品など全般に販売が苦戦いたしました。

その結果、当第2四半期におけるフィッシング事業の売上高は、4億72百万円(前年同期比10.9%減)となりました。さらに、仕入原価上昇による売上総利益率の低下も影響し、セグメント利益(営業利益)は44百万円(前年同期比55.1%減)となりました。

(アウトドア事業)

アウトドア事業に関しては、記録的な暖冬による防寒衣料や防寒小物の販売が低迷いたしました。また、昨年好調だったフィッシングギアの販売が釣用品市場の不振の影響を受け低迷いたしました。その一方で、春夏物衣料の販売については概ね順調に推移いたしましたが、防寒衣料などの低迷を補うまでには至りませんでした。

その結果、当第2四半期におけるアウトドア事業の売上高は12億20百万円(前年同期比4.2%減)となりました。さらに、仕入原価上昇による売上総利益率の低下などの影響を受け、セグメント利益(営業利益)は66百万円(前年同期比43.6%減)となりました。

(その他)

その他の主な内容は、不動産賃貸収入売上であります。当第2四半期に関しては、賃貸面積の減少によりその他売上高は9百万円(前年同期比12.6%減)となりました。また、セグメント利益(営業利益)は4百万円(前年同期比19.6%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債、純資産の状況

(資産)

当第2四半期会計期間末の資産は、前事業年度末に比べ5百万円増加し57億57百万円となりました。

流動資産は、受取手形及び売掛金の増加52百万円や電子記録債権の増加23百万円、有価証券の増加99百万円、商品の増加1億71百万円などの一方、現金及び預金の減少2億39百万円などの影響により、前事業年度末に比べ1億12百万円増加し、39億81百万円となりました。

固定資産は、投資その他の資産に含まれる投資有価証券の減少1億4百万円などの影響により、前事業年度末に比べ1億7百万円減少し、17億75百万円となりました。

(負債)

当第2四半期会計期間末の負債は、前事業年度末に比べ34百万円増加し11億16百万円となりました。

流動負債は、支払手形及び買掛金の増加96百万円などの一方で、未払法人税等の減少9百万円や、その他に含まれる未払金の減少13百万円、未払費用の減少7百万円、未払消費税等の減少20百万円、返金負債の減少14百万円などの影響により、前事業年度末に比べ29百万円増加し、8億75百万円となりました。

固定負債は、退職給付引当金の増加5百万円などの影響により、前事業年度末に比べ5百万円増加し2億40百万円となりました。

(純資産)

当第2四半期会計期間末の純資産は、前事業年度末に比べ29百万円減少し、46億40百万円となりました。これは主に、四半期純利益2百万円の発生などの一方で、前事業年度決算の配当支出29百万円やその他有価証券評価差額金の減少3百万円などによるものです。

(3) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期会計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前事業年度末に比べ2億37百万円減少し、6億51百万円となりました。

当第2四半期累計期間における各キャッシュ・フローの状況は次のとおりです。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果使用した資金は、1億74百万円(前年同四半期の得られた資金は5百万円)となりました。これは主に、税引前四半期純利益20百万円や減価償却費35百万円、仕入債務の増加89百万円などによる資金の増加の一方、売上債権の増加75百万円や棚卸資産の増加1億72百万円、未払消費税等の減少20百万円、その他の流動負債の減少31百万円、法人税等の支払額19百万円などによる資金の減少によるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、32百万円(前年同四半期の使用した資金は20百万円)となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出24百万円や無形固定資産の取得による支出9百万円などによる資金の減少によるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は、32百万円(前年同四半期の使用した資金は32百万円)となりました。これは主に、前事業年度決算に係る配当金による支出29百万円とリース債務の返済による支出2百万円によるものです。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の業績予想につきましては、2024年7月9日発表の「通期業績予想の修正に関するお知らせ」に記載の業績予想に変更はありません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2023年11月30日)	当第2四半期会計期間 (2024年5月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,862,064	1,622,672
受取手形及び売掛金	505,712	558,011
電子記録債権	65,247	88,581
有価証券	—	99,990
商品	1,347,871	1,519,586
その他	88,132	92,504
貸倒引当金	△114	△129
流動資産合計	3,868,914	3,981,217
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	454,949	451,588
土地	653,376	653,376
その他（純額）	13,841	14,596
有形固定資産合計	1,122,167	1,119,561
無形固定資産	18,048	24,302
投資その他の資産	742,880	631,948
固定資産合計	1,883,096	1,775,811
資産合計	5,752,011	5,757,029
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	575,349	672,188
未払法人税等	35,233	25,394
賞与引当金	2,080	1,514
その他	233,376	176,808
流動負債合計	846,040	875,905
固定負債		
退職給付引当金	172,296	178,002
その他	62,925	62,230
固定負債合計	235,222	240,232
負債合計	1,081,262	1,116,137
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,079,998	1,079,998
資本剰余金	3,834,701	3,834,701
利益剰余金	234,895	208,145
自己株式	△478,060	△478,060
株主資本合計	4,671,535	4,644,785
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△786	△3,894
評価・換算差額等合計	△786	△3,894
純資産合計	4,670,748	4,640,891
負債純資産合計	5,752,011	5,757,029

(2) 四半期損益計算書

第2四半期累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自2022年12月1日 至2023年5月31日)	当第2四半期累計期間 (自2023年12月1日 至2024年5月31日)
売上高	1,814,656	1,701,960
売上原価	946,161	913,983
売上総利益	868,495	787,977
販売費及び一般管理費	742,920	770,190
営業利益	125,574	17,787
営業外収益		
受取利息	1,232	1,865
受取配当金	624	—
為替差益	—	856
その他	382	194
営業外収益合計	2,238	2,915
営業外費用		
為替差損	2,824	—
その他	118	68
営業外費用合計	2,942	68
経常利益	124,870	20,634
特別損失		
固定資産除却損	48	0
特別損失合計	48	0
税引前四半期純利益	124,822	20,634
法人税、住民税及び事業税	22,233	10,105
法人税等調整額	4,371	7,560
法人税等合計	26,604	17,666
四半期純利益	98,217	2,968

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自 2022年12月1日 至 2023年5月31日)	当第2四半期累計期間 (自 2023年12月1日 至 2024年5月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	124,822	20,634
減価償却費	30,788	35,953
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△251	15
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△108	△565
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	2,670	5,705
受取利息及び受取配当金	△1,856	△1,865
為替差損益 (△は益)	△1,183	△1,727
固定資産除却損	48	0
売上債権の増減額 (△は増加)	△104,401	△75,633
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△192,501	△172,766
仕入債務の増減額 (△は減少)	199,629	89,061
未収消費税等の増減額 (△は増加)	—	△8,120
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△8,747	△20,618
その他の流動資産の増減額 (△は増加)	△1,739	4,839
その他の流動負債の増減額 (△は減少)	△34,260	△31,910
その他	△328	250
小計	12,580	△156,746
利息及び配当金の受取額	1,636	1,825
法人税等の支払額	△9,005	△19,274
営業活動によるキャッシュ・フロー	5,211	△174,195
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△811,800	△821,800
定期預金の払戻による収入	813,600	823,600
有価証券の償還による収入	100,000	—
有形固定資産の取得による支出	△14,606	△24,963
無形固定資産の取得による支出	△600	△9,549
投資有価証券の取得による支出	△100,000	—
敷金及び保証金の差入による支出	△7,031	—
敷金及び保証金の回収による収入	155	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	△20,283	△32,713
財務活動によるキャッシュ・フロー		
リース債務の返済による支出	△2,760	△2,760
配当金の支払額	△29,436	△29,650
財務活動によるキャッシュ・フロー	△32,196	△32,410
現金及び現金同等物に係る換算差額	1,183	1,727
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△46,085	△237,592
現金及び現金同等物の期首残高	882,843	889,364
現金及び現金同等物の四半期末残高	836,758	651,772

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

(セグメント情報)

I 前第2四半期累計期間(自 2022年12月1日 至 2023年5月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	調整額 (注) 2	合計 (注) 3
	フィッシング 事業	アウトドア 事業	計			
売上高						
外部顧客への売上高	529,790	1,274,445	1,804,236	10,420	—	1,814,656
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	529,790	1,274,445	1,804,236	10,420	—	1,814,656
セグメント利益	98,423	117,744	216,168	5,496	△96,089	125,574

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸事業であります。

2 セグメント利益の調整額△96,089千円は、各セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は主に管理部門の一般管理費であります。

3 セグメント利益は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っています。

II 当第2四半期累計期間(自 2023年12月1日 至 2024年5月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	調整額 (注) 2	合計 (注) 3
	フィッシング 事業	アウトドア 事業	計			
売上高						
外部顧客への売上高	472,198	1,220,654	1,692,852	9,107	—	1,701,960
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	472,198	1,220,654	1,692,852	9,107	—	1,701,960
セグメント利益	44,210	66,384	110,594	4,417	△97,225	17,787

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸事業であります。

2 セグメント利益の調整額△97,225千円は、各セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は主に管理部門の一般管理費であります。

3 セグメント利益は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っています。